

..... 編集後記 .....

◆歳月の流れるのは早いもので、今年も最後の月を迎えましたが、振り返って見て、どんな年だったでしょうか。

◆さて、今月号も難しい話と解りやすい話で紙面が構成されています。

◆南雲昭三郎氏の「地球深部の運動像をめぐる研究動向」は今回の記事で完結とのこと。大学院生の方が「その1」～「その3」までを通読されると、新しい地質研究の視野が開かれるかもしれません。

◆原子力エネルギーの平和利用は石炭・石油などの化石エネルギーの枯渇にともない将来的にはさらに重要になると考えられますが、その廃棄物の処分方法は人類の最大の課題となるでしょう。現在、地下深部の状況についてはコンピュータ・シミュレーションで予測がなされていますが、もっと地質屋の出番があるのではないかと思います。

◆金井氏の「放射能の発見と地球化学」は科学的に大変解りやすく解説されていますので、ぜひ、ご一読下さい。地質現象は我々にとって、善であったり悪であったりしますが、それをなるべく善にするためには地球科学に裏付けされた人間の知恵が必要

です。「敵を知れば百戦して危うからず」

◆現在、日本各地では沿岸浸食が進行して美しい浜辺が失われており、いろいろと議論されています。沿岸浸食対策として土木工学の技術で解決しようとしています。海浜の砂は河川から海域に運搬された砂が沿岸流で横方向に移動して形成されたものです。現在では河川に多くのダムが形成され、海への砂の運搬を停止しており、横方向の砂の移動運動だけが残りました。結果として、砂浜の様相は変化します。現在では砂の横方向の移動を土木工学の腕力で止めようとしています。その結果は佐藤氏の報告の三保の松原に見られるとおりです。簡単な解決策は河川を自然の状態に戻すことですが、水資源の確保、水害防止も重要な問題なのでダムも必要不可欠です。沿岸浸食の問題の解決のためには海浜の砂の動きを理解し、養浜対策を立てることが必要だと思います。

◆巡検案内の記事を載せましたが、椎葉は大変な秘境とのこと。どなたかハイキングで行ける巡検コースを紹介して下されませんか。

(有田正史)

地質ニュース編集委員会

委員長：有田正史

副委員長：石井武政

委員：佐藤興平・今井 登・村上文敏・大熊茂雄

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係(山崎 浩・谷田部信郎)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3504

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

|               |                             |       |      |
|---------------|-----------------------------|-------|------|
| 地質ニュース        | 第508号                       | 1996年 | 12月号 |
|               | 定価                          | ¥770  | 千実費  |
| 1996年12月1日 発行 |                             |       |      |
| 編集            | 工業技術院地質調査所                  |       |      |
| 発行人           | 株式会社 実業広報社                  |       |      |
|               | 代表者                         | 林 光生  |      |
| 発行所           | 株式会社 実業広報社                  |       |      |
|               | 東京都千代田区九段下北1の7の8            |       |      |
|               | Tel. (03)3265-0951(代表) 〒102 |       |      |
|               | 振替口座 00110-6-32466          |       |      |
|               | 麹町局私書箱第21号                  |       |      |
| 印刷            | 小宮山印刷工業株式会社                 |       |      |

©1996 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター 本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。